



和与书云國猪尾谷村東子月一ノ地取祓田富再

教野昌洋以事

合田亡下事及元教堂心野昌洋以下者 并付没又別結在之

右子細老高村東子者親泰 亡老也 小願也然同 注名當法

去正和六年二月一日作談与源氏女押願之云謂

之旨以祈申也其貴法也就彼讓狀雖申子細相

為正後日始成和再之旨南村貴法ノ願内以田地

壹町五反及教堂心野昌洋以下源氏女ノ願令

和与早然与者以正和六年二月一日也再

貴法親父親里讓狀至本和返元法也彼田地

在教者永為源氏女ノ願子ノ為元法好但於二

方馬事也臨田地ノ恨保持候又其并樂所

三合ノ願方願候後其并樂所及以後之其一事

所為源氏女ノ願事也其地也其休以願候年

其自元法方可致并其休以南村貴法以下

以下證文也願子方如取版取在也其即入道事

也其出兼贈者可致自出也其禮事也其肯以和

与状於彼田地也教彼之始其也其願狀貴法親

其東子也二收申結者也子孫南院候等出也

夜香之者仁可致其罪科將也自貴法親父所

願得該狀事又其南院下也其元其哀其對也

休の友好の候状也

嘉應二年二月廿日

源氏貴法



おのれにたいはれまじりていふ
おしおれらうのちまじりていふ山の
たけいふまじりていふけり

今も

いぶち

いぶち

いぶち

いぶち

いぶち

いぶち

いぶち

いぶち

いぶち

いぶち

いぶち

いぶち

いぶち

右は

かき二年二月廿三日

あか

及

為後證所不違者也

嘉慶三年四月廿三日

左道將

新